

## 防災イベント報告

開催日時：平成 28 年 1 月 16 日（土） 13：30～16：30

講演：NPO 法人プラスアーツ 永田理事長

防災・コミュニティ活動のご紹介

参加：地域の方（10 名）、ルネッサンス in 洋光台事務局

○防災をキーワードに、コミュニティを元気にする取組事例のご紹介。

- 「いつも同じ人しか来ない」「若い人がなかなか参加してくれない」等の課題を解消するには、あえて隙のあるプログラム構成にすることで、参加型・自立型の活動になっていく。
- 関われるようにすることに加えて、「魅力付け」をすることが大切。
- 魅力があり、来てみたら手伝えるようになっていることが大事。この考え方でプログラムを作っている。
- 洋光台では高齢者向けの「高齢者防災」をやってみてはどうかと感じた。防災グッズ 1 つとっても高齢者向けは違うはず。
- 「高齢者防災」については、洋光台発で他の地域でも使われるようなものを作っていけるのではないか。みなさんが本気取り組んでもらえるのであれば、お手伝いできる。

○プラスアーツが実施しているプログラムのご紹介

- **イザ！カエルキャラバン！**：楽しい防災訓練  
シンボルマークをカエルで演出。ほとんどの地域が、1 回やり方をレクチャーすると、2 年目からは独自に活動をしている。被災者の声を集めてプログラムを作っていて、「地震イツモ講座」の内容を子どもに学ばせるように工夫をしたもの。プログラムのチラシをまくだけでは集客が難しいので「かえっこバザール」というおもちゃを交換するというプログラムを組み合わせたイベント。

イザ！カエルキャラバン！



楽しみながら  
しっかり学ぶ防災訓練

おもちゃの交換会と  
楽しくアレンジした防災プログラムを  
組み合わせた体験型防災イベント

◎ **イザ！カエルキャラバン！**  
NPO 法人プラス・アーツ  
藤浩志（美術家）  
（2005 年～）

地震イツモ講座

**地震ITSUM◎講座**

阪神・淡路大震災や東日本大震災の被災者への聞き取り調査から学んだ「被災地で本当に役立つ防災の技や知識」を、実技を交えて分かりやすくレクチャーします。備ってすぐできる家具転倒防止対策や、あまり知られていない防災グッズの最新事情など、個人の自助力を高める知識が満載の実践講座です。

- **レッドベアサバイバルキャンプ**  
一泊二日のキャンプをとおして、災害時に求められる力、火のおこし方、ロープの結び方などを学ぶ。初日練習して、翌日試験をする。できると技バッチがもらえる。技バッチは、それぞれの地域でご当地バッチが作られているほど人気がある。プレイパークをやっている地域は相性が良いかもしれない。

レッドベアサバイバルキャンプ



災害時に必要なことは、  
ほぼキャンプで学べる。

どんな状況でも  
たくましく生き抜く知恵や力を、  
楽しみながら身につける避難生活体験

◎ **レッドベアサバイバルキャンプ**  
NPO 法人プラス・アーツ  
神戸市消防局、大阪ガス株式会社、KITO：協力  
（2011 年～）

## イザ！カエルキャラバン！

### 防災体験プログラム

被災者が語った被災地で本当に役立った“知識”や“技”を分かりやすく伝えるため、子どもの興味を引く仕掛けを盛り込み、ゲーム感覚で楽しみながら「消火」「救出」「救護」などを学べるワークショップを開発。



#### 水消火器で的あてゲーム

水消火器を使ってカエルの的をくるくる回し、カエルを振り返らせるゲームです。



#### 毛布で担架タイムトライアル

毛布の両端をくるくる丸めて担架をつくり、重量のあるカエル人形を運びます。

【開発協力者】藤浩志（美術家）



#### 対決！バケツリレー！

ゴミ箱や鍋など、水をすくうことのできるものでバケツリレーのコツを学びます。



#### ジャッキアップゲーム

意外と知られていないジャッキの使い方を楽しみながら学びます。

【開発協力者】藤浩志（美術家）



#### おたま劇場

人形や紙芝居などを使って分かりやすく子どもたちに防災の知恵や知識を伝えるプログラムです。



#### 防災体操

消火、人命救助などイザ！という時の知恵や技を、楽しい体操を通して学ぶことができます。

【開発者】キスヒサタカ（アーティスト）



#### 持ち出し品なあに？クイズ

1分間で地震時の持ち出し品12品目を覚えて、答えるクイズです。



#### 紙食器をつくろう

新聞紙でコップやお皿を折った後、ビニール袋でラップをかぶせ、食器をつくるプログラムです。



#### 家具転倒防止ワークショップ

ミニチュアを用いて、家具転倒防止グッズ等の使い方や効果を学んでもらいます。

【開発協力者】堀田孝一郎（アト&グア）



#### GURAGURA TOWN

買い物しながらゴールに向かうすごろくゲームです。ゲーム中に防災に関するクイズが出ます。

【巨大版制作】KOSUGE1-16（アーティスト）



#### なまずの学校

防災の知識や災害時に必要な臨機応変な対応力を養うことができるカードゲームです。



#### SHUFFLE

AEDの使い方などの災害時に必要な知識や技の手順を覚えることができるカードゲームです。

【絵】寄藤文平（グラフィックデザイナー）

## 地震イツモ講座

### 1. 地震のメカニズム

地震はどうして起こるのか？——地震の2つのタイプ「活断層型地震」「プレート境界型地震」を詳しく解説。また、その脅威が叫ばれ続けている「首都直下地震」とは、いつ、どこで、起こる地震で、どんなタイプの地震なのかを詳しく解説。最後に、「首都直下地震」をイメージするうえで最も参考になる16年前に発生した「阪神・淡路大震災」の被災地の写真をスライドで観ながら、南関東エリアに「首都直下地震」が襲った場合の被災地のイメージをざっくりとつかんでもらいます。



### 2. 家具転倒防止ワークショップ

阪神・淡路大震災時に家屋の内部被害で怪我をした人の一番の原因は家具の転倒だった、という事実を踏まえて、家の中の家具の転倒防止方法を詳しく解説するプログラムです。

「L型金具」や「ベルト式固定器具」「ポール式固定器具」「ストッパー式固定器具」など様々なタイプの家具転倒防止器具を紹介するとともに、それぞれの効果を実験映像で披露し、家庭ですぐできる家具の転倒防止方法を伝授する講座です。タンスや棚だけでなく、薄型液晶テレビやガラスの飛散防止など家庭内のありとあらゆる家具の転倒防止方法も伝授します。



### 3. 応急手当—身の回りのもののできる応急手当ワークショップ—

心肺蘇生の方法やAEDの使い方など専門的な救急救命の技は地域の消防局や赤十字社が実施している専門的な講座を受講してもらうとして、本講座で展開しているのは、身の回りにありそうなものだけを使って、災害時に臨機応変に対応できる応急手当の方法を学ぶプログラムです。内容的には「直接圧迫止血法」と「骨折の手当」の2つに絞って教えています。



### 4. 防災グッズ—持ち出し品 12 品目暗記クイズ—

家庭内に常備しておくべき防災グッズセット 12 品目とは？——暗記クイズ形式でそれら 12 品目を覚えてもらうとともに、それぞれのグッズにまつわる最新の防災情報を合わせて伝えるプログラムです。また、3 月 11 日以降重要視されるようになった、会社や学校に備えておくべき防災グッズセットや、普段の通勤・通学カバンに入れておくべき防災グッズセットなども紹介する実用的なプログラムです。



### 5. 災害時の連絡方法

災害時の安否確認に必要な各種連絡方法は、あの手この手をしっかりと知っておくことが重要です。ツイッターやフェイスブックなど SNS も有効であることは東日本大震災や海外の大震災で実証されていますが、一部の利用者に限られていることは否めません。比較的一般的な「災害用伝言ダイヤル(171)」や「災害用伝言板サービス」「災害用ブロードバンド伝言版」といった連絡方法をその細部まできちんと知ったうえで使えるように準備しておくことが重要です。このプログラムでは、あまり知られていないそれぞれの連絡方法の特徴をクイズ形式で確認していきます。



### 6. 災害時のトイレ

過去の災害において、過酷な状況に陥ったトイレ問題について解説します。共用のトイレはすぐに汚物でいっぱいになってしまったり、管理が行き届かず不衛生になりがちです。家庭で備蓄できる携帯トイレや身近なもののできるトイレのつくり方など、いざという時家庭でできる対策についてお伝えします。



### 7. 災害時の食事

先日中央防災会議が発表した南海トラフ巨大地震対策の最終報告の中で、家庭の備蓄を「1 週間分以上」の量にすることが推奨されました。これまでの「3 日分」を大きく上回る備蓄を実現するために、今回は特に「食糧や水の備蓄」にスポットを当て、日々の暮らしの中でできる備蓄の技を紹介します。



## レッドベアサバイバルキャンプ



災害時に必要なことは、  
ほぼキャンプで学べる。

どんな状況でも  
たくましく生き抜く知恵や力を、  
楽しみながら身につける避難生活体験

### レッドベアサバイバルキャンプ

NPO 法人プラス・アーツ

神戸市消防局、大阪ガス株式会社、KIITO：協力  
(2011年～)

対処療法的な防災ではなく、災害時に生き抜く「たくましさ」「2つのソウゾウリョク（創造力と想像力）」を養う場を作りたいという思いから、ゼミ形式でキャンプサポーターと共に作り上げたプログラム。防災時の知識はもちろん、どんな状況でもたくましく生き抜く知恵や力を、楽しみながら身につけることができます。もしもの時の「備え」を、頭と体にしつかりと刻み込む1泊2日の防災キャンプです。

### レッドベアサバイバルキャンプのしくみ



### 開催実績

#### 「レッドベアサバイバルキャンプ」2011

神戸の摩耶山上にある野外体験施設（神戸市立自然の家）において、『レッドベアサバイバルキャンプ』を初開催。家族ごとにテントを張って宿泊しました。



#### 「レッドベア火育+サバイバルキャンプ」2012

大阪ガスの「火育（ひいく）」プログラムをプラスして開催。「阪神・淡路大震災」当時に避難所として実際に活用された「旧二葉小学校」を会場として実施しました。



○当日の講演の様子



主催：UR 都市機構

# 防災・コミュニティの専門家

NPO 法人  
プラスアーツ理事長

## 永田宏和氏

### 活動のご紹介と 意見交換会を 開催します！



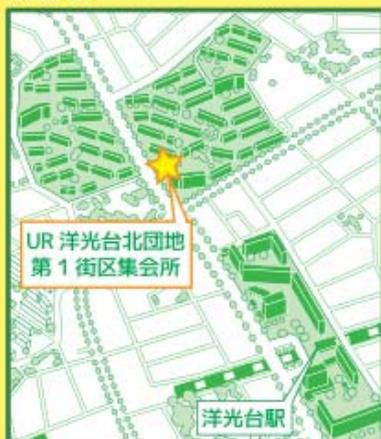
Photo by Yoshiaki Tsutsui AXIS

「情熱大陸」  
「世界一受けたい授業」  
などTV出演も多数！

イザ！カエルキャラバン！などの活動で著名な永田宏和さんが洋光台で数々の防災、コミュニティ、まちづくりの経験をご紹介します。日頃これらについて興味や疑問のある方、お子様連れでも結構ですので奮ってご参加ください。



## MAP



日時：2016年1月16日（土）

13：30～16：30

場所：UR 洋光台北団地第1街区集会所

（入場無料、事前登録はありません）

お問合せ先

UR 都市機構 東日本賃貸住宅本部 神奈川エリア経営部  
計画推進チーム 担当：小澤・穂坂  
TEL：045-682-1897

  
地の未来  
The Future of Housing Complex Project  
dashkenrui.com